

ジョージ・ソロス：パンデミックは「考えられないような」ことを導き入れる、好機を創り出す

億万長者グローバリストいわく、社会の変化を達成する絶好の機会だ

【Greatchain】

ジョージ・ソロスという億万長者の行動はすべて、奸計とも陰謀ともいえる。そして彼は、一言でいえば、「神に対する復讐」だけに生きている。何年前か、あるインタビューで彼は「あなたは神を信じますか」と訊ねられ、意識的にはっきりと「いいえ」と答えた。よくある返事のように、「それは神の定義による」などとは答えなかった。これは彼が無神論者などではないことを示している。神は存在する。その存在する神に復讐し、神を殺すことによってしか、自分の生きる道はないはない、と彼は信じている。あの風貌はそういうことを物語っている。

マルクスも同じことを言った：——「あの高い所に君臨しているあの者に向って、俺は堂々と復讐したい！」これが、グローバリスト・イルミナティと言われる者たちに共通する精神構造である。我々が騙されて演じている科学的無神論者とは、全く別のものである。

この同じ頁に、CNNのVan Jonesの記事が出ている——「白人で、リベラルなヒラリー支持者たちは、3K団よりもっと危険だ。」これは全くその通りの、正しい見方であろう。ヒラリーも、ソロスも、その傭兵たるアンティファも、その動機からして、この不安の時代に最高の恐ろしさを見せるはずである。

Jay Greenberg @NeonNettle

May 30, 2020



ジョージ・ソロスいわく：コロナウィルスは、以前には考えられなかった事態に扉を開けた

億万長者グローバリストのジョージ・ソロスは、グローバルなコロナウイルス・パンデミックが、以前には「考えられなかった」社会の変化を導き入れる、好機を創り出したと宣言した。

ソロスは、彼がかつて「不可能」と考えていた進歩の道を、この危機が開いてくれたと言った。

第二次大戦中に彼は青年だったにもかかわらず、ソロスは、パンデミックを「私の生涯における本物の危機だ」と呼んでいる。

「パンデミックが来る前から、私は、我々が革命の時期にあり、通常の時期には不可能なこと、または考えられないことが、可能になっただけでなく、おそらく絶対に必要なものになったことを、理解していた」と、彼は最近のインタビューで言った。

ソロスはまた、「ヨーロッパはいくつかの生命的な危機に直面している」とも警告した。

彼は、「特に EU の生き残りについて心配している、それは不完全な連盟だからだ」と、我々に教えた。



イタリアは、コロナウイルス・パンデミックに対する、EU の反応について、大きな失望を感じている

ハンガリア生まれのこの億万長者によれば、ヨーロッパ連合は「創られる途上にあった」が、「それは決して完成されなかった」。

したがってソロスによれば、EU は「特別な弱点をもち、アメリカよりも弱点がある。その理由は、不完全な連合であるだけでなく、それが法の原則に基づいているからだ」という。

ソロスはまた、最近の、ドイツと EU の紛争についてコメントした。

ドイツの最高裁は、5月5日に裁定を下し、ヨーロッパ中央銀行（ECB）の政策に関するEUの法廷判決の1つは、法的な拘束力を持たないと論断した。

これに対して、ヨーロッパ法廷は、自分だけがECBに対して裁判権をもつと主張した。

インタビューでは、ソ罗斯は、このグローバリストEUの肩を持った。

「ドイツがEUに参加したとき、彼らはヨーロッパの法に従うことを約束したのだ」と、彼は主張した。

彼は、ポーランドやハンガリーのような国は、もし、ドイツの法廷がヨーロッパの法定決定を疑問視することもできるなら、これ以上にEUから独立するかもしれない、という怖れを口にした。

ソ罗斯は尋ねた、「ハンガリーやポーランドは、ヨーロッパの法に従うか、自国の法に従うかを、決定できるのだろうか——その合法性をEUが疑問としているのに？」

「その疑問は、ヨーロッパの心臓部にまで達する。それは法の原則に基づいているからだ」

「ポーランドは直ちにそれに応えて立ち、自分の政府の支配する法廷が、ヨーロッパの法定より優位にあると主張したのだ」と、ソ罗斯は言った。

「ハンガリーは、Viktor Orbán がすでに、COVID-19 非常事態を利用し、議会を捕らえて自分自身を独裁者に任命した」

最近の選挙は2018年に行われ、次の選挙は2020年に予定されている。

それだけでなく、新しい投票の結果は、ハンガリー人の大多数（54パーセント）がオルバン政権の処置を支持しており、彼に投票するだろう。

「この裁定は、法の原則に基づいた制度としてのヨーロッパ連合を、破壊する危険を孕んでいる。それはまさに、ドイツの最も尊敬される制度である、ドイツ憲法による法廷がそう決めたからだ」と、ソ罗斯は強調した。

インタビューの中で、ソ罗斯は再び、EUに恒常的公債を発行させる案を話し、彼はそれをConsolsと呼んだ。

コンソル公債によって作り出されたカネによって、COVID-19 パンデミックだけでなく、気象変化に対しても戦う、資金をも賄うと言う。

「ヨーロッパ・コミッション議長の Ursula von der Leyen は、ヨーロッパはこのパンデミックと戦うために、1兆ユーロ（1.1兆ドル）が必要だと言うが、彼女は、気象変化に対して、もう1兆ユーロを加えるべきだった」と、ソ罗斯は言った。

彼はコンソル公債は、「通常時には決して発行すべきではないが、この時期には理想的なものだ」と言った。

しかし彼は、なぜ金融的手段が「通常時には」適切でないのかを言わなかった。たとえ彼自身がそれを、恒常的公債と性格づけたとしても。

インタビューの中で、ソ罗斯は、ドナルド・トランプ大統領のことを短く語り、彼が「独裁者になりたがる」ことを非難した。

「しかし彼は、そうなれないのだ。そのわけは、アメリカには、人々がいまだに尊敬している憲法があるからだ」

この憲法は、ソ罗斯によれば、「彼があることをすることを妨げる」が、それは大統領が、その試みをすることを禁ずものではない。「なぜなら彼は、文字通り必死に戦っているからだ」

「私は、トランプが自己破壊すると固く信じていた、と言おう。そして彼は、私の最も信じられない予想を超えてしまった」と、ソ罗斯はつけ加えた。



ジョージ・ソ罗斯は、ハンガリーの指導者ビクトル・オルバンを独裁者だときき下ろした

ソ罗斯は、アメリカと世界を通じて、墮胎、安楽死、人口統制、同性結婚、性転換など、
いろいろな左翼思想を豊富に支援している。

彼の Open Society 財団は、100 か国に及んで、年間、ほとんど 10 億ドルを費やしている。

そこには、年間 1 億 5,000 万ドルの、左翼のアメリカ自由人権協会 (ACLU)、主導的な墮胎協会としての Planned Parenthood (計画出産協会)、その他のリベラルグループがある。

彼は、超-政治活動委員会に 510 万ドルを投資し、トランプ再選を阻止するグループにカネを
与えている。そして EU の戦闘的支持者として、多数のヨーロッパ諸国の選挙に、影響
を与えようと、さらなるカネを費やしている。

1 月に彼は、教育施設の国際ネットワークを始動させると通告した。これは彼の解釈する
「民主的諸価値」を推進し、「ナショナリズム」の隆盛と戦うことが目的である。

関連記事: 「Sheriff Clarke: ジョージ・ソ罗斯はコロナウィルス発生〈パニック〉に〈関わっている〉」

<https://neonnettle.com/news/10643-sheriff-clarke-george-soros-is-involved-in-coronavirus-outbreak-panic->

——以上